

真ん中タイトル

右寄せ 名前

1 Markdown2PDF

1. report.md を編集して
2. references.bib を編集して
3. 使用画像を./src/img に入れて
4. build.bat を実行すると
5. PDF が出る

1.1 Requirement

- Pandoc <https://pandoc.org/installing.html>
- pandoc-crossref <https://github.com/lierdakil/pandoc-crossref>
- LaTeX
 - uplatex
 - dvipdfmx
 - biber
 - Latexmk

1.2 Markdown 形式と LaTeX コマンドの対応

<https://pandoc.org/MANUAL.html#pandocs-markdown> を参考にすると理解が深まると思います。

普通の文章。太字。 *italic*。取り消し線。

明示したリンク <https://trap.jp/post/1123/>

[タイトル付きのリンク](#)

ここは本文です。

これは引用文です。

ここも本文です。

2 h1 見出し 1

2.1 h2 見出し 1

h2 見出し 2

2.1.1 h3 見出し

セクション 2.1 見出しへのリンク

■h4 見出し

h5 見出し

表 1: スマイルプリキュア！に登場するキャラクター

変身前	変身後	声優
星空みゆき	キュアハッピー	福園美里
日野あかね	キュアサニー	田野アサミ
黄瀬やよい	キュアピース	金元寿子
緑川なお	キュアマーチ	井上麻里奈
青木れいか	キュアビューティ	西村ちなみ

表 1 に、スマイルプリキュア！に登場するキャラクターを示す。



図 1: ここにキャプション



(a) png 画像の挿入



(b) pdf 画像の挿入



(c) jpg 画像の挿入



(d) 画像を

(e) 横並びに

(f) したり

(g) できる



(h) 間隔を



(i) あけて



(j) 並べることも



(k) できる

図 2: 画像の挿入テスト

図 2 に、各画像の挿入結果を示す。図 2b は pdf 形式、図 2a は png 形式、図 2c は jpg 形式の

画像である。

$$\begin{aligned}\frac{\partial f}{\partial t} + \xi_i \frac{\partial f}{\partial X_i} &= J(f, f) \\ J(f, f) &= \frac{1}{m} \int_{\xi_1} \int_{\alpha} (f' f'_1 - f f_1) B(|\alpha_j V_j|, V) d\Omega(\alpha) d^3 \xi_1\end{aligned}\tag{1}$$

式 1 はボルツマン方程式である。

脚注も利用することができる^{*1}。

参考文献の表示 [1]。

`\clearpage`、`\newpage` で改ページ。

ソースコード 1: キャプション

```
1 # 日本語のメモ
2
3 N = 20
4 for i in range(N):
5     print(i % 3 // 2 * "Fizz" + i % 5 // 4 * "Buzz" or i + 1)
```

ソースコード [1] は Python における FizzBuzz の例。

参考文献

- [1] プリパラ制作委員会. プリパラ&アイドルタイムプリパラ設定資料集<上> <プリズムボイス編+ドリームパレード編>. 小学館, 2019, pp. 96-97.

^{*1} このように脚注が表示される。